



# 碧南ロータリークラブ週報

第3165回例会 令和8年5月20日(水)

- 会長 黒田 泰弘
- 幹事 永坂 誠司
- 会場監督(SAA) 長田 一希

2025-2026 年度  
国際ロータリー会長メッセージ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 杉浦邦彦・長田康弘・杉浦秀延

**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことの  
ために  
手を取りあおう

## ● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## ● 本日のお弁当

大正館

## ● 本日のお客様

(株)ビレッジ開発 取締役農業部長、次世代型農場でんでん村 村長 下村太一郎様  
アイシン辰栄(株) 執行幹部 榊原寛史様

## アイシンティルマーレ 活動報告

アイシン辰栄(株) 執行幹部 榊原寛史様



榊原寛史様

## 会 長 挨 拶

失礼致します。

本日の卓話をしていただきます下村様は、以前に竹内さんと仕事仲間だったとお聞きしておりますが、私も少しご縁がありまして、中学2年生の時にフォークグループを組んでいましたが、メンバーの1人がこちらの会社にお世話になっていまして、その彼から下村様の結婚披露宴にフォークゲリラをしてほしいという依頼で、2人でギター



黒田泰弘会長

を抱えて乗り込んだことがあります。祝儀もいただけなかったのですが、招かれざる客のようでしたが、以来、三河安城 RC 所属の彼のお父様とも IM などでお会いした際は親しくお話しさせていただいております。本日はよろしくお願ひ致します。

話は変わりますが、昨年5月21日の例会で鈴木前会長は大阪・関西万博の体験談をお話しされていましたが、皆様は何回行かれましたでしょうか。私は1回しか行けませんでした。ロータリーの家族会としてはどうかとも考えましたが、開催期間の関係で断念致しました。知立 RC は昨年9月にメンバー全員で行かれたようです。知立 RC の会長さんにお話をお聞きしたところ、一箇所だけ団体予約で入り、あとはフリーとのことでしたが、長蛇の列ゆえ、ほとんどの方は飲食店でゆっくりとされていたようで、行き帰りのバスで飲んでいたことが一番の思い出となったようです。

本日は少しロボットについてお話しさせていただきます。良くも悪くも時代は AI ということで、軍事転用という新たな問題も取り沙汰されていますが、大阪・関西万博では「ロボットエクスペリエンス」として、案内・搬送・清掃・警備などを行うロボットの実証実験が行われていました。そして、視覚障害者向けの AI スーツケース型ロボットも実演・実験されておりました。このロボットはカメラやセンサーで周囲を認識し、目的地まで誘導しながら周囲の情報を音声で伝えることができ、まるで未来のガイド犬のような存在として多くの注目を集めました。

AI ロボットに関しましては、会員企業様の中でも研究をされている方も多いと思いますので、私はアナログロボットに焦点を当てさせていただきます。EXPO'70 では現在の AI ロボットと比較しますとまだアナログ感が満載で、フジパン提供のロボット館ではじゃんけんに負けてロボットに頭を叩かれていた弟の姿が思い出として残っていますが、それでも当時は最先端に感じました。

その時代に「昭和のロボット博士」と言われた相澤次郎という方がいました。相澤氏は昭和30年代から昭和50年代にかけて、大型ロボットを多数制作していました。相澤ロボットは児童雑誌やテレビに登場し、初回の大阪万博のロボット館にも関わっていました。相澤氏は昭和20年代からブリキのロボット玩具についても、各おもちゃメーカーにアドバイスを行っていました。その関係もあって、大量のブリキのロボットを収集していましたので、我々コレクターにとっては気になる方でした。相澤氏は昭和6年に「人造人間の作り方」という本を出しています。その本の中に「ブリキのロボット」という項があり、「ロボットをブリキで作ったら面白い」と書いてあるそうです。

ロボットの歴史について少し触れますと、ロボット登場は諸説ありますが、紀元前8世紀のホメロスの叙事詩に登場した「黄金の美女」が最初とされています。1927年のドイツ映画「メトロポリス」に登場する人間型ロボット「マリア」の原型かもしれません。また、「ロボット」という言葉自体は1920年にチェコの劇作家カレル・チャペックが戯曲の中で用いたのが始まりとされています。

では、ブリキのロボットが初めて作られたのはいつ頃かご存知でしょうか。世界初のブリキ製のロボットは、実は戦前の日本製なのです。その名は「リリパットロボット」。1930年代の製品で、現存数が極めて少なく、希少性の高いロボットです。ブリキのロボットはその大半

が日本製で、世界中のコレクターの一番人気で高額になっています。そのためもあって、私はロボットを全くコレクションしておりません。しかし、このリリパットだけは資料的な意味で持ち続けています。今日はお持ちしましたので、お見せします。

メーカー名は非記載で「KT」というマークのみあります。このKTマークは戦前の一時期だけに見られるもので、専門家の間でも長らく謎とされてきました。ところが、私が所有する戦前のボンネットバスのおもちゃの箱に同じKTマークが記載され、箱にはローマ字で「KOWADO」と記載されているのです。何の自慢にもなりませんけど、社名の判明は私が世界初の発見かもしれません。

そして、思い浮かんだのは相澤氏とリリパットロボットの関係です。相澤氏が1931年の本でイメージしたブリキのロボットの具体的な形が、1930年代のリリパットロボットではないかと思えてきました。何の根拠もない仮説ですが、ありえない話ではないと考えます。「人造人間の作り方」という本さえ見つければ、その謎が解けるかもしれません。

1月に卓話をしていただいた北原さんのみなとみらいに新しくオープン致しましたミュージアムには、たくさんのロボットが飾られています。アナログロボットにご興味を持たれた方は、横浜に行かれた際はぜひお立ち寄りいただけましたら幸いに思います。以上となります。

本日もよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第11回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 5月27日(水)は夜間例会になりまして、17時30分より開会になりますので、お間違いのないようによろしくお願い致します。



永坂誠司幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 15 名) 出席者 53 名	
出席対象者 53 / 59 名	出 席 率 89.83%
欠席者 7 名 (病欠者 0 名)	

### <ニコボックス>

平岩統一郎君 姉妹都市エドモンズでお世話になった方が難病になられたので、「毘沙門天妙福寺」さんのお札とお守りを持参してお見舞いに行ったら、涙を流して喜んで頂きました。ついでに仕事をかねて各地を訪問しましたが、1ドル

= 160円は大変で、日本人観光客に出会いませんでした。

新美 宗和君

27日の夜間例会でカラオケをやることになり、お手伝いすることになりました。事前に練習したいとのことで黒田会長、山口日出子さん、杉浦保子さんが、にいみカラオケに来店され練習をしてキーを決めてました。今週（今日から）20日～24日まで、よる7:00～9:00までインフォーマルミーティングで歌唱される方には無料でカラオケできますので、是非にいみカラオケにいらして下さい。いまさら聞けないカラオケ歌唱のゴクイをおしえますヨ！

竹中 誠君

先週の例会で結婚祝を頂き、ありがとうございました。

杉浦 保子君

先日は、黒田会長様、新美宗和様には大変お世話になりました。

山口日出子君

鈴木 洋君

本日、でんでん村 村長 下村太一郎様をご紹介します。

牧野 勝俊君

Vリーグ アイシンティルマーレ碧南の活動報告をさせていただきました。皆様の引き続きの熱い声援とご支援をよろしくお願いいたします。

亀山 晋次君

5月14日（木）に開催されました碧南青年会議所70周年記念ゴルフコンペにて、自己最高スコア114に上限無しのダブルペリアハンデ約40がハマって9位いただきました。感謝です。

中川 哲君

5月17日、碧南火力で「ふれあい広場」でイベントがあり、たくさんの地域の皆さんにお越し頂きました。（感謝です）たくさんの笑顔を見れて嬉しかったです。

## 卓 話

### 「不動産業からミニトマト栽培で農業新規参入」

(株)ビレッジ開発 取締役農業部長、次世代型農場でんでん村  
村長 下村太一郎様



下村太一郎様

過分なご紹介ありがとうございます。僭越ですが、これから当社のトマト事業についてご説明させていただけたらと思います。

私は2022年2月まで愛知県中央信用組合に務めておりまして、その時に「ニッキン」という金融機関の週刊誌に取り上げていただいたことがあります。それから3年後には「日本種苗新聞」にも取り上げていただいております。

本業は不動産業でして、事業用不動産の管理が主な仕事になります。「デンソーテクノ」さんを主要顧客としておりまして、不動産業を通じてデンソーさん本体とのお付き合いが深まる中、デンソーさんの2030年中期経営計画の拡大貢献領域に農業が位置づけられていることを知りまして、そのご縁からカーエアコンの熱負荷計算・気流モデル解析技術を応用したデンソー製次世代型農業用ハウス「プロファーム T-キューブ」の建設を提案されまして、2022年9月に新規就農を決断しました。

一般的なハウスは上昇気流で換気しますが、このハウスは天窓なしの密閉型でありまして、ミストによる気化熱冷却で外気温 40 度でもハウス内を 35 度程度に保つことができます。敷地は 5 反（農業用面積は 2 反）で、5 連棟のハウスでミニトマトを水耕栽培しております。

就農のきっかけは 2 つありまして、1 つは農家資格を持つ母が刈谷市に農地を所有していたことで、もう 1 つは安城農林高校の園芸科出身で、トマトが大好きな妻が「どうしてもやりたい」と強く後押ししてくれたので、やることになりました。現在は妻と社員など、総勢 30 名ぐらいで運営しております。

商品を紹介させていただきます。商品名は「うるつやトマト」になりまして、商標も取得させていただきました。機能性表示食品として消費者庁に登録しております、GABA（ストレス緩和）とリコピン（紫外線から肌を保護）の 2 つのヘルスクレームが特徴です。昔ながらの皮が厚く酸味のあるタイプで、一般の大玉トマトと比較してリコピン含有量は約 1.5 倍です。高糖度トマトとは一線を画した健康志向の商品です。毎年、日本食品分析センターで成分分析を実施し、消費者庁へ届け出を更新しております。

競合との差別化は夏越し栽培による高単価時期の出荷です。トマトの市場単価は 8 月の猛暑の影響で 9～11 月に最も高騰し（500 円～1,300 円/kg 程度）、このタイミングに出荷できるのが強みです。長野や北海道という夏産地でも猛暑の影響で収穫が難しくなっている中、このハウスは夏場も安定供給できる数少ない生産拠点となっております。また、機能性表示食品賞や 2025 年大阪・関西万博での審査員特別賞も受賞し、商品の知名度向上に努めております。

6 次産業化への取り組みとして、碧南市の「BARKERY DOOKU」さんとのトマトフィナンシェ開発、「Denso Parlor」さんとのカレーパン試作、刈谷市の「KARIYA 75 BREWING」さんとのトマト発泡酒（刈谷市ふるさと納税登録済）を展開しております。さらに「鈴木紙器」さんとの連携でトマト残渣を活用したダンボール開発にも挑戦中で、EC サイトでの活用を検討しております。

現在の主な販売先は「MaxValu」さん（高浜呉竹・西尾・千種・太閤・代官・本山・徳川）、「Beisia」さん（常滑・三好・蒲郡・名港・長久手・藤枝・都田・雄踏）、「LaLaport」さん、「でんまあと」さんなどで、今後は直接契約による単価向上を図り、年商 3,000 万円を目標に掲げております。また、愛知県の補助金を活用した中古ラジエーターによる冷却実験も今年度から取り組む予定です。

地域貢献として、安城農林高校・東京都立園芸高校・半田高校・刈谷北高校など、多くの学生を農場見学に受け入れております。東京都立園芸の学生から後日色紙が届くなど、農業を通じた地域との繋がりを大切にしております。

拙い話ではございましたが、以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。

## 次回例会案内

令和 8 年 6 月 3 日（水）クラブフォーラム「オリンピアによるスポーツ講演会」  
ALSOK株式会社 藤澤 勇氏（競歩選手）